

令和4年度第3回今金町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：令和4年11月11日（金） 午後2時00分～午後3時00分

場 所：今金消防署 2階会議室

出席委員：外 崎 会 長 今金町長
勝 山 副会長 自治会町内会連合会
久ヶ澤 監 事 今金町商工会
山 本 委 員 北海道檜山振興局地域政策課（松本係長代理出席）
武 田 委 員 せたな警察署
伊 藤 委 員 函館建設管理部今金出張所
田 中 委 員 今金町老人クラブ連合会
西 川 委 員 函館バス株式会社
松 本 委 員 有限会社東ハイヤー
大 岩 委 員 函館地区交通運輸産業労働組合協議会
由 浅 委 員 今金町公営施設課

欠席委員：辻 監 事 今金町社会福祉協議会
天 沼 委 員 自治会町内会連合会
酒 井 委 員 国土交通省北海道運輸局函館運輸支局
岸 委 員 今金町保健福祉課
早 坂 委 員 今金町教育委員会事務局
杉 山 委 員 今金町国保病院

日本データサービス株式会社：中原課長、齊藤主任技師

事 務 局：今金町まちづくり推進課 鈴木課長、佐藤課長補佐、松永主事補

1. 外崎秀人会長（町長）あいさつ

皆さま大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
今回の素案をもってご協議いただき、整理をしたのち議会へも進捗状況を報告するといった事務を進めていきたいと考えております。地域の足を確保するにあたり、様々な課題がありますが、我々町民の思い・願いは運営主体である事業者の力添えがなければ叶わないものであるため、相関関係をもって広い範囲からご意見をいただき計画を作成してまいりたいと思いますので本日もよろしく願いいたします。

2. 議 題

(1) 今金町地域公共交通計画（素案）について

（説明者：日本データサービス株式会社 齊藤主任技師）

計画の区域は今金町全域を対象とし、市町村間を跨ぐ路線バスや町外で接続する鉄道との関係性も踏まえ、広域の移動についても考慮する。

今金町に既存の計画や、北海道の計画との連携をする必要があるため、連合性を持って本計画を運用する。

タクシー運賃低廉化制度については、現時点では全国で2事例のみ確認されている。制度実施にあたっては広い周知や町民への理解を目的としてキャンペーンを行いたいと考えている。

5つの基本目標に対し、計画策定年の現状値から計画最終年度を目標値として評価指標を設定する（素案提示時では数値は未設定）。

【質疑・応答・意見交流】

（松本係長）運行状況の「見える化」について、主な利用者である高齢者にはスマートフォンの操作等が難しいと考える。表示板は郊外での実施実績は少ないため、今金町が先進的に実施してみてもどうかと考える。

（西川委員）現在、北檜山出張所に表示板を設置しており、時刻表や運行状況を発信している。設置にあたりインターネット環境が必要なため、そこを踏まえて検討していきたい。

（松本委員）デマンドバスとフィーダーの運行を高速道路と一般道路の関係性のよう効率的な運用となるよう目指していきたい。神丘地区の利用者を今金ターミナルへ集め、そこから輸送するといったやり方が合理的であると考えている。また、運転手を増やしての運行エリア拡大とあるが、人口減少が進むと運転手が運行数に見合わないようになることが考えられるため、未来が見えないところが多少あるように感じられる。

（外崎会長）事業者には主従バランスを保ち、地域の足の確保を一番に考えることを基本としていただきたい。サポートのための福祉バスであるため、デマンドバスに移行するにあたり利用者のニーズを予測し、本当に需要があるのか改めて確認する必要があると考える。

（鈴木課長）神丘地区のデマンドバス運行実施に向けて過去と同様に実証検査を行い、来年度以降の協議会では具体性について進めていきたいと考えている。

(2) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について

①地域内フィーダー系統 (説明者：今金町まちづくり推進課 松永主事補)

◆予約バス「ルンるん号」の運行については国庫補助(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)を活用しており、毎年事業評価(自己評価)が義務付けられているため実施するもの。

◆令和3年10月から令和4年9月までの期間の事業評価を実施。

◆事業実施の適切性については、利用促進に向け情報発信や市街地エリアでの乗車を継続したことから、計画通り適切に実施されたとして評価Aとした。目標・効果達成状況については、目標利用人数3,750に対し実績3,370人と下回り、一部の路線では利用者増も見られたが全体で見ると利用者減のため評価Bとした。利用者減の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響及び日常的に乗車していた利用者の対象地区外への転居や人口減少が考えられる。目標達成に向け、引き続き広報紙面やチラシ等による情報発信を行い、改善を図る。

事務局説明のうえ、承認をいただきました。

②地域公共交通調査等事業 (説明者：今金町まちづくり推進課 佐藤課長補佐)

◆事業実施の適切性については、適切に実施されていたと評価しており、特に計画策定時から事業者と協議を行ってきたことにより、来年度以降の事業の動き出しが円滑になることが予想されるため評価Aとした。

◆生活移動の確保を軸とした5つの基本目標を設定し、町内を運行する各事業者と連携を図ることで安心して生活できる公共交通網の構築を将来像としている。現段階では、評価指標の頭出しの段階であるが、次回協議会時には目標値も入れた最終的な地域公共交通計画を協議予定。

事務局説明のうえ、承認をいただきました。

【質疑・応答・意見交流】

(久ヶ澤委員) ルンるん号の利用促進のための情報発信方法として、回覧板でチラシを配布する他に防災行政無線で放送をしてみてもどうか。

(外崎会長) 各地区宛に分けて放送するシステムもあるため、利用者増のために是非検討したい。

3. その他

○事務局より（協議会今後のスケジュールについて）

本日提示させていただいた素案につきましては、これから評価指標の数値等未完成の部分を整えて参ります。協議会今後のスケジュールは、本計画の意見照会を年内中、また本日承認いただいた事業評価の結果報告を、年度末を目途にさせていただきたいと考えております。対面での協議会開催は、本日が最後とさせていただく予定であります。

4. 閉 会

（外崎会長） 今回の素案の提示では、2年という策定期間の中で方向性を見出し、町民を対象とした調査をもとに課題を明確にして改善へと運ぶ動きが出来ていると感じられました。各事業者から町民まで多様な意見を頂いた結果だと思しますので、大変感謝しております。計画の完成まであと数歩ではありますが、引き続きご意見やご提案を頂きますようお願い申し上げます。本日は貴重なお時間を頂きまして誠にありがとうございました。

以 上